



令和6年度大会テーマ あきらめず 最高のゴール 掴み取ろう

令和6年度の運動会は5月25日（土）8時25分開会です。

ゴールデンウィーク明けから、ダンスや並び方などの練習に取り組んできました。応援団も始業前や昼休み、放課後も使って練習してきました。リーダーとしての自覚が出てきたことが、挨拶や礼儀正しさから伺えます。そんな上級生に憧れる下級生の眼差しもキラキラしています。

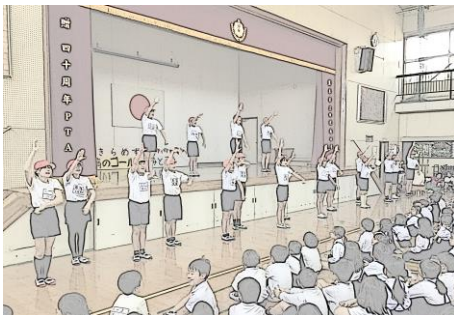
今年は体育館に全校児童が集まっての結団式を行いました。応援団のキラのある声と迫力ある演舞を目の当たりにし、低学年からは興奮した歓声があがりました。

プログラム10番「6年リレー」には、ご家族と教職員の合同チームも参加します。

くれぐれもケガがありませんよう、各自で練習等をしていただき、当日は無茶することなく、子供たちと一緒に競技を楽しんでいただきますようお願いいたします。

大会テーマのとおり、一人一人が、最後まであきらめることなく、自分にとっての最高のゴールを目指し、つかみ取ってほしいと思います。

最後まで温かいご声援をよろしくお願いいたします。



熱中症事故防止について すぐーるで配信しています

今年の4月24日（水）から「熱中症特別警戒アラート」の運用が開始されています。近年、気候変動等の影響により、国内の熱中症による救急搬送人員は、毎年数万人を超え、死亡者数も高い水準で推移していることがその背景にあります。環境省では気象庁と共同して「熱中症警戒アラート」を令和3年度から運用し、熱中症への警戒を呼びかけてきましたが、一段上の「熱中症特別警戒アラート」が創設されました。それほど**熱中症による人の健康にかかる重大な被害が生じるおそれがある**ということです。

令和5年4月1日以降の新学期におけるマスクの着用の考え方について「学校教育活動の実施に当たっては、マスクの着用を求めない」といった通知が文部科学省から出ています。通知から1年以上経ちますが、校内でマスクを着用している子供は少なくありません。

熱中症対策の一つとして、特に体育の時間は外すように声を掛けますが、嫌だと首を横に振ります。外れないように手でマスクを押さえます。

炎天下にスクールセーターを着たまま参加している子供も見られます。顔を火照らせているので脱ぐように促しますが、嫌だと言って脱がない子供もいます。

熊本市では昨年度は2件の集団搬送や下校中の子供の救急搬送が発生しております。熱中症は、それほど高くない気温（25℃～30℃）でも、湿度等その他の条件により発生します（特に5月の連休明け、梅雨入り時期、夏休み明けなど）。

本日（21日）、すぐーるで「熱中症事故防止について」のお知らせをしております。ご確認いただくとともにお子さんとも話をさせていただき、学校と家庭が一緒になって子供たちの熱中症防止に取り組んでいきたいと思っております。

それから、長い髪を結わずに垂らしたまま体育に参加している子供がいますが、安全面から結うのがいいです。「田迎南小よいきまり」では頭髮に関しては、下記のようになっています。

○かみをそめたり、パーマをかけたりしません。

○かざりのついていないピンどめやゴムをつかいます。